



絵 九島家二氏



賀正

鷹巣町長
出川 禮一

新年のごあいさつ

町民の皆様、新年おめでとうございます。

昭和五十七年の新春に当たり、平和と希望に満ちた輝かしい年でありますようお祈り申し上げますとともに、日頃町政に深いご理解とご協力をいただいております町民各位をはじめ、関係機関、団体等に対して深甚の感謝を申し上げます。

昨年は二年続きの冷害により、農作物は大きな減収を受け、また地場産業も需要の減退、経済活動の停滞等により、生産および所得等も低下し、町民生活がおびやかされました。

今年、町行政といたしましても、ご承知のとおり行政改革が進行する厳しい現実と機会に合わせ、自らの体質の改善と強化をなし、併せて町民生活の向上と健康でたくましい町造りに、役職員一同、総力を挙げてがんばる覚悟であります。

皆様のより一層のご協力を賜われますようお願い申し上げます、あわせて皆様のご健康とご健闘をお祈り申し上げます。

昭和五十七年 元旦

十二月定例町議会

出川町長行政報告



各財産区管理会は存続

各財産区管理会（七座を除く）は、その存続について数回にわたり検討、協議をかさねてきましたが、次のとおり今後の運営方針の一致をみました。

- 一、管理会の同意権は、財産区住民にとって法的に認められている権利であり、その重要性を認識し、管理会経費は必要最小限度とする。
- 二、区有林は、全部町と分収契約をすることにし、その分収割合は次のとおりとした。
- 新植地Ⅱ町七割、財産区三割
- 既植地Ⅱ現況調査の上決定する
- 土地Ⅱ町一割、財産区九割
- 三、官、県行造林地は、従前のおり財産区に帰属する。
- 四、職員の人件費、一般事務費は町で負担する。
- 五、介在地以外の土地は払い下げしない。
- 六、財産区財産からの収益による事業援助（補助金等）は、



福祉の町づくりで、子供と老人のモチつきを行う前野団地

天災融資法の適用と 激しん地災害指定

公共団体に限り認める。

九月定例会でも報告しましたが、本年も二年続きの異常低温と台風十五号等により、農作物全般に大きな被害を受けましたが、特に稲作については前年度の作況指数八一より、さらに三ポイント下回る七八と公表されておりますが、十二月一日現在の出荷数量は限度数量に対し七三・九％となっており、一等米比率も前年度の五〇・六九％を大きく下回っております。

町におきましても、十一月九日鷹巣町稲作等冷害対策本部を設置し、その対応策を関係機関と協議しながら強力にすすめてまいりましたが、十二月八日の閣議において天災融資法の適用と激しん地災害指定がまりました。

なお、町内六農協の資金対策として、一般会計より総額一億五千万円の預金をいたしました。

五十六年十二月定例町議会は、十二月十五日から二十四日まで十日間の会期で開かれました。議会は、十五日に町長の行政報告と提出議案に対する大綱質疑が行われたあと各委員会に付託。十七、十八の両日は一般質問、十九日から二十二日まで付託案件に対する各常任委員会が開かれ、二十四日に本会議を開いて閉会しました。

十二月定例町議会で、出川町長が報告した行政報告の要旨は次のとおりです。

（なお、決定した議案については一月十五日付け広報で報告します）

水稲共済金 八億七千万円

水稲共済金の損害評価額は、前年度より千二百二十二万四千円多い八億七千七百七十八万六千円と決定し、農協を通して

十二月十五日頃各農家に支払われる予定になっております。本年度の水田利用再編対策については、最終実績で五百三十八万と達成率一〇六％、態様別では、転作作付が全体の九七％を占め、農協等への水田預託が三％となっております。作物別にみると大豆、飼料作物などの特定作物が四百五十三万（八八％）で、野菜が三十一万（六％）、一般作物が三十万（六％）です。

計画転作は、八十四地区中三十九地区（四六％）で、その面積は二百三十九万で転作面積全体の四五％となり、また、本年度から新たに設けられた団地化加算対象面積は九十五・三万です。

転作補助金は 二億九千七百万円

転作補助金等は、総額二億九千七百万二千円と決定し、前渡金を差し引いた精算額一億六千五百四十七千円は、十

二月下旬までに各農家に支払いを完了する見込みであります。

転換水田事業としての向前田(脇神)十一・三〇、上金堀(川口)三・三〇、畜産振興対策として実施していた団体営草地開発事業である源右エ門沢十、および栄地区のジワダ五・八がそれぞれ完成いたしました。

農用地利用増進対策事業として、工事費千八百五十三万円十二月三日着工した緑ヶ丘担い手センターは、周辺公園整備事業もあわせ、年度内完成の見込みであります。

農道整備事業として工事中の農免農道(陣場岱地区)は、本年度で総延長六千九百五十メートルが完成いたしました。

また、本年度より着工した開拓地農道(横溝、中新田線)は、本年度分三百メートルが完成し、団体営農道石の巻地区八百八十、小糠沢地区二百九十二、彦四郎沢地区二百二十の路体工事をしております。

災害復旧は激じん 指定で補助金増

五十六年度発生のおよび八月災害は、百三十七カ所、査定額一億七千七百六十四万二千元(農地復旧四十二カ所千七百四十四万二千元、農業用施設九十五カ所、一億六千二百万円)となりましたが、いずれも激じん災害に指定されたので、補助率増高の申請作業をすすめております。

なお、六月災については緊急を要するものから、農地復旧七カ所、農業用施設二十カ所を発注工事中であります。

綴子および向黒沢土地改良区より要望のあったかんがい排水事業については、前野地区二百八十、向黒沢地区百三十を県単補助事業で実施し、冷害対策土地改良事業は、五十七年四月から五月までの期間に予定しております。

地籍調査事業については、五十五年度までの調査地域(七日市字穴渕ほか四十七字)三千四百八筆、十一・五平方メートルは、十一月二十七日をもって登記作業が完了しました。

五十六年度分については、十九字四・三平方メートルを五百二十五万円を実施しております。

林業構造改善事業として二カ年継続で工事中の沢口林業センターは、本年度分四千三百二十三万円の工事がおわりました。

林道柵木岱線は、九〇%の進捗率であります。

林道奥見内線の崩落危険箇所の改良については、延長二千六百メートルのバイパスとして工事費三百万円です工事中であり、一方県営の峰越連絡林道奥見内線(延長八百三十七・七十五万円)および基幹林道大摩当線(延長千六百九十七・八千六百二十二万五千元)の工事は、九五%の進捗率となっております。

町有林の整備については、栗園三の植栽とそれに附随した作業道五百四十メートルを工事費四百万円です完了、並びに槐(えんじゅ)〇・四、ブナ〇・七についても完了しております。

また、町行造林二十五・八についても千二百六十二万五千元で植栽をおわっております。

また、現在、林道振興地域の内定を受け、林業振興地域整備事業十カ年計画を作成し、五十七年三月の本認定を受けるよう県および林野庁と協議を行っているところであり、この事業が認定されることにより、林業関係事業が優先的優遇措置がなされることとなります。



火災防ぎよ訓練を実施

秋の火災予防運動がはじまった十一月一日、早朝六時三十分から七日市農協付近を中心に消防本部および消防団のポンプ車九台が出動し、消防警戒区域の設定、消防隊の誘導、放水技能など火災を最小限に食い止める訓練に続いて、小猿部川堤防で十一台の小型ポンプによるいっせい放水訓練、地域の主婦、婦人を対象にした油火災消火訓練等、防災体制の強化と火災予防思想の高揚を図るため、火災防ぎよ訓練を行いました。今後地区を変えながら順次実施する計画であります。

十一月十三日には、東保育園において五十六年度公開保育研究会を行い、従来の年齢別保育を全園児をたて割りに組み替え、運動遊びをとおして社会性や協調性を育て、役割意識を高めることを主題として公開しました。

本町においては、歴史の浅い町立保育園ではじめての公開研究でありましたが、この経験と実績をもとに、今後の保育行政を生かしてまいりたいと思っております。

町老人福祉大会は、十一月十六日老人クラブを中心に、各地区から四百人が参加して鷹巣体育館で開かれました。

また、老人福祉展には五十点におよぶ民芸、手芸、彫そ等出品されました。

健康大学に 延べ七百人参加

近年栄養の不適切な摂取や運動不足等に伴う貧血、各種成人病などが増加の傾向にあります。これに対処するため、健康管理についての知識の高揚と日常生活において、栄養、運動、休養のバランスをとることを基調に地域に密着した健康づくり対策の一環として、各農協単位に健康大学講座を開設してきました。

五回目の本年度鷹巣地区では、農協や保健補導員の積極的な協力もあって、一回平均百四十人、延べ七百人近い受講がありました。

今後さらに系統的、継続的に進めていきたいと思っております。

四十八年から操業を続けている食肉センターの増設改良工事が、工事費五千六百万円で広域組合事業として、

二月末日完成を期限に工事中であります。主な工事は、汚水処理施設、汚泥脱水機、自動皮剥機（豚）で、一日処理頭数五十八頭から百頭処理が可能となります。

産業祭は盛會に

第二回鷹巣町産業祭は、去る十一月一日から三日まで一地域の創造は産業の見直しから」をテーマに、体育館を主会場として開催しました。なお、地域産業の商・工・農・林業の総合的発展をめざす「鷹巣町地域産業青年部会」の発足をみましました。株式会社・鷹巣阿仁総合卸売市場（代表取締役・佐々木正義）の集荷センター起工式は、去る十一月十日現地で行われ、明春四月オープンをめざし工事中であります。

建設関係五億三千万円余発注

建設関係では十一月末までに、一般建設関係で、三億八千六百四十七万円を、災害復旧関係では一億五千三百三十六万円の工事を発注しており、その大半は完成しております。今後発注を予定している工事は、松原、岩谷線の改良工事及び小ヶ田橋、秋田渡橋の改良と右堰排水路新設が主なものであります。

また、災害復旧関係では五十六年発注の摩当、李岱線の道路災害と大堤川の町単独災が主なものであります。

かねてからすすめてまいりました都市計画道路の変更につきましては、十一月三十日に秋田県都市計画地方審議会に諮問されましたが、原案のとおり答申されたのであります。

十月一日から実施された住居表示については、格別苦情等の申し出もなく、順調に移行されつつあります。

公営住宅の建設は予定どおり完成しましたが、十二戸のうち特定入居が十一戸ありますので、一般公募による入居者は一戸となりました。なお家賃は、二万三千五百円と定められました。

除雪については、例年同様幹線道路、バス路線を主体に、直営と委託で約百七十キロの除雪を予定しています。

上水道の量水器 取替工事行う

上水道事業については、南鷹巣地区の量水器取替工事四百十件と浄水場車庫兼材料置倉庫新築工事も完了しました。

今年度加入計画百件に対し、十一月末現在九四%の実績となっております。

七座地区簡水については、水質保全のための、浜過装置取付工事を発注しほぼ完了しました。

学校營繕については、工事費四百八万円をもって、綴小、中央小、鷹小、南部給食センターなど校舎内外の補修整備を実施し、現在南小昇降口屋根増築、東小グラウンド側構整備、北部給食センター物置増築など五百二十四万円をもつて工事中であります。

さきに悪天候のため延期になっていた第十九回町民体育祭は、十月十日体育の日に第十七回町民伝大会と兼ねて開催されました。

当日もあいにく雨が降ったり止んだりの天気でしたが、約千名の参加者がありました。

第十三回鷹巣町文化祭は第二回鷹巣町産業祭と一体になりながら「生活の中にいきづく文化の輪を」テーマに開催されましたが、年々出品の範囲も広まり、内容も充実してきております。

特定地方交通線対策

秋田県地域交通対策協議会第三回総会は、去る十月三十一日秋田市で開催されましたが、はじめて国鉄当局の出席を求め現状説明を開いたあと、対応を協議した結果▽地方協議会では地区交通の在り方について副広い協議を行う▽転換条件を速やかに明文化する▽輸送密度が選定基準を上回った場合、廃止手続きを凍結する▽経営改善計画の進行状況を公表する▽会議の運営には、関係地方公共団体の意向を十分尊重し、二年間を経ても協議を継続している場合は廃止の手続きをとらないこと…の五項目を再度申し入れることになりました。

なお角館線特定地方交通対策協議会には阿仁合線沿線の各町村も会議の構成員になることを認められました。

読書感想文 コンクール 読書体験文

第十七回読書感想文・第一回読書体験文コンクールを次により行いますので、多数の応募をお待ちします。

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

課題図書 特に定めませんが、教科書、雑誌は対象としません

字数 小学校の部は四百字詰原稿用紙三枚以内、その他の部五枚以内

応募締切 一月二十七日

入選発表 二月中旬

表彰 特選、入選、佳作（各部門とも若干名）

応募先 鷹巣町中央公民館

※読書体験文は、何でもよいので、自分の読書体験について印象に残っていることや、日頃考えていることについて書いてください。

出稼ぎ者激励集會のご案内

町では、出稼ぎ者の正月帰省者を対象に、次により激励集會を開催しますので、ぜひ出席くださるようご案内いたします。

日時 一月四日 午後一時から

場所 鷹巣町中央公民館

不明な点は、役場商工観光課へお問い合わせください。

町議会全員協議会を開き

鷹小築 新築

中岱地区へ移転

明年度から着工の予定



町では、来年度計画している鷹巣小学校の改築について、町議会全員協議会を十二月八日午前十時から役場三階大会議室で開催。当初予定していた現在地から「中岱地区に移転したい」という当局案を協議。多数の同意を得たことから、五十七年度に新校舎着工をめざして用地買収、造成に取りかかることになりました。

町では、鷹巣小学校の老朽化にともない、現在地(宮前町)に改築の準備を進めていましたが、校地の一部が借地であること、また手狭であることから、拡張のための用地買収交渉を行っていましたが、一定の前進がなかったことから、移転候補地三カ所を選定して打診していましたが、そのうち中岱地区の地権者の一部から好反応を得たので、新天地移転を計画したものです。

全員協議会では「財政が許すな

ら、新天地ですぐれた教育環境をつくるべき」「将来にたえる教育環境を望む」など、移転に同意する意見が多かったです。

計画によると、中岱地区の校舎

気をつけよう



町内の小中学校は一月十八日までの長い冬休みに入りました。冬休みは、学校生活の開放感から、気がゆるみがちですが、進級、進学をひかえた三学期前の、だじいな期間です。

安全なくらしと、計画ある学習で、楽しく、思い出多い冬休みとなるよう、家族のみなさんも、次のことをアドバイスしてください。

- 学習について
- 計画を立てて学習し、午前九時までは、友だちをさそわない
- 友だちと聞きあつて勉強する

- 健康について
- 早寝、早起きをする
- 寒さにまげず日光浴をする
- 外から帰ったら手をあらう、うがいをする
- ねる前、手足をあらう
- 遊びについて
- 工夫してよい遊びをしよう
- 夜遊び、火遊びはやめよう
- 安全な場所で雪遊びしよう
- 交通安全について
- 道路は右がわを歩く
- 車につかまったり、車に雪玉を投げない
- スキーをはいて道路で遊ばない
- 横断歩道や車の通つたあとなどに気をつけるよう
- スキーのりについて
- 決められた場所ですべる
- ひとりでて行かない
- 山の木にきずつけたり、枝をおらない
- 外出・外泊について
- 行き先き、目的、友だち、帰りの時刻を家の人に知らせ、ゆる

新築予定地は、中央保育所の裏側で、鷹巣体育館近くの一画二万五千平方尺。東西百四十尺、南北百五十尺で、現在地より七千平方尺も広くなりました。

町では、同協議会で多数の同意を得たことから、年度内に用地買収、造成に着手する予定です。五十七年六～七月頃には、校舎建築にとりかかる見込みになりました。

また、教育環境を整備するため通学路も拡幅することになります。

町長日記

12月1日～12月15日

- 1～4日 下水道予算確保陳情、全国治水砂防協会予算陳情、秋田県町村長中央研修会、全国町村長大会、道路整備促進全国総決起大会、治水事業促進全国大会、鉄建協臨時全国総会、東京都
- 5日 農協合併に伴う懇談会
- 6日 妹尾館会館竣工式
- 7日 米内沢病院管理者、副管理者会議
- 8日 インターハイ準備委員会
- 9日 国保運営委員会
- 10日 鷹巣保健所運営協議会
- 11日 北秋中央病院運営委員会
- 12日 秋田市 秋田さきがけ政経懇談会、体育功労者受賞祝賀会
- 13日 県バレーボール協会設立三十五周年記念のつどい、秋田市
- 15日 鷹巣連合婦人会ブロック研修会、葛黒地区十二月定例町議会

- しをえてから
- 名ふだをかならず付ける
- 奉仕活動について
- 家の手伝いを毎日つづけよう
- 進んで町内の奉仕活動しよう
- お正月のくらし方について
- お年玉は、むだ使いたないで貯金しよう
- お客さまへのことばづかい、あいさつは、礼儀正しくしよう

昭和55年度決算報告

各会計とも健全な収支

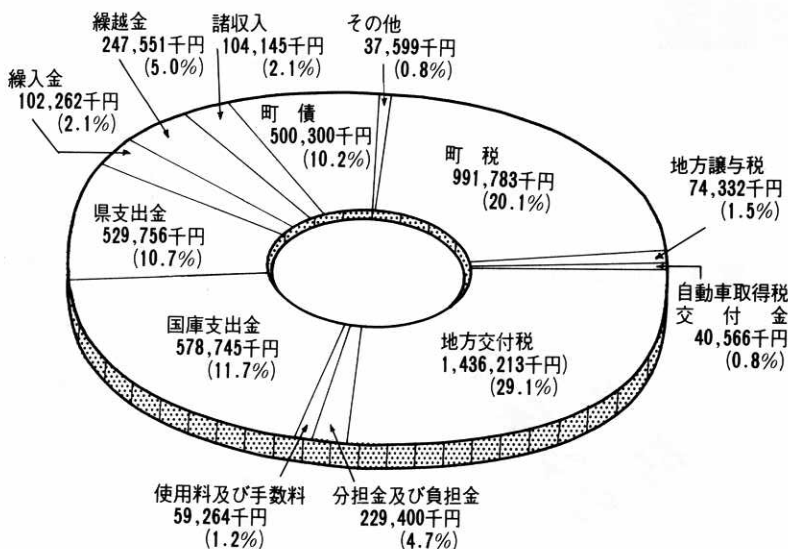
一般会計二億三〇七三万七千円繰越

昭和五十五年度一般会計及び特別会計の決算については、九月定例町議会で決算特別委員会に付託。同委員会で慎重審議を重ねていきましたが、いずれの会計も原案どおり認定となりました。

一般会計や各種特別会計は、みなさんから納めていただいた町税や地方交付税、県の支出金などでまかなわれていますが、いずれも黒字でムダのないよう効率的に使われています。

会計のあらましについて報告しますが、今後とも町政に対する、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

一般会計歳入 49億3191万6千円



昭和55年度 町税徴収状況及び負担状況

徴収状況

区分	予算額	調定額	収入済額	収入率
町民税	417,111	431,244	422,791	98.1%
固定資産税	417,688	448,487	423,047	94.3
軽自動車税	11,185	11,698	11,463	98.0
たばこ消費税	79,100	79,184	79,184	100.0
電気税	47,279	51,064	51,064	100.0
鉱産税	1	0	0	-
木材引取税	4,501	4,216	4,216	100.0
土地保有税	1	18	18	100.0
合計	976,866	1,025,911	991,783	96.7

負担状況



1人当り



1世帯田当り

町民税 16,624円
固定資産税 16,634円

町民税 59,431円
固定資産税 59,467円

たばこ消費税

1人
3,114円



人口 25,432人
世帯 7,114世帯
(昭和56年3月31日現在)

町費の使いみちは

一般会計歳出 四七億〇一一七万七千円

一人当たり 一八万四八五三元
一世帯当り 六六万〇八三五円

教育費 646,597千円 (25,424円)

学校の施設、社会教育、体育など

農林水産業費 613,334千円 (24,117円)

農林業、地籍調査、冷害対策など

総務費 715,431千円 (28,131円)

窓口

庁舎管理、住民登録、統計調査など

災害復旧費 364,662千円 (14,339円)

河川、道路、農業施設の災害復旧

商工費 93,977千円 (3,695円)

商工、観光、温泉など

民生費 489,276千円 (19,239円)

身障者、老人福祉、生活保護など

諸支出金 54,435千円 (2,140円)

土地の取得費

土木費 930,762千円 (36,598円)

道路の新設改良、補修など

衛生費 273,302千円 (10,746円)

検診、ゴミ処理、墓地公園など

公債費 259,481千円 (10,203円)

町が借りたお金の元金と利息

消防費 167,624千円 (6,591円)

消防、水防費など

労働費 19,673千円 (774円)

失業対策など

議会費 72,623千円 (2,856円)

議員の報酬など

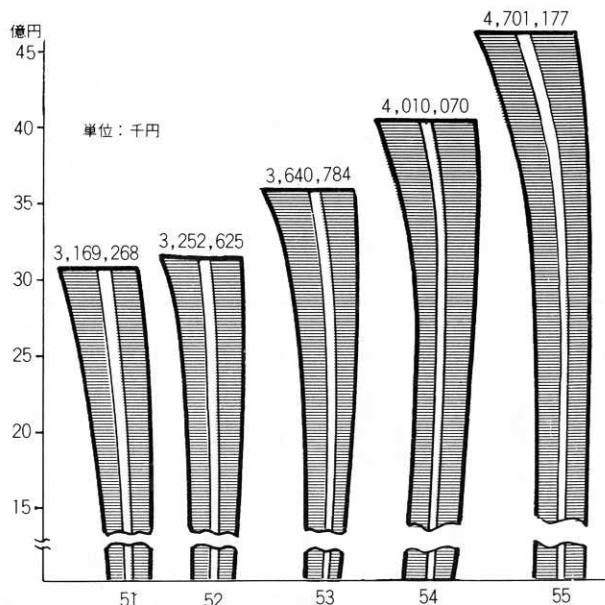
()内は町民1人当り

会計別決算総括表

単位：千円

会計区分	歳入総額	歳出総額	残 額
一般会計	4,931,916	4,701,177	230,739
国保会計	981,523	877,224	104,299
綴子簡易水道会計	345,845	344,954	890
坊沢簡易水道会計	7,631	6,981	650
七座簡易水道会計	9,737	9,627	110
と畜場会計	19,055	19,055	0
宅地開発事業会計	38,202	22,151	16,051
土地取得会計	1,712	1,707	5
墓地公園会計	46,736	46,736	0
綴子財産区会計	57,179	46,514	10,665
栄財産区会計	59,887	22,543	37,344
坊沢財産区会計	71,007	14,738	56,269
沢口財産区会計	23,258	17,817	5,441
七日市財産区会計	51,011	33,817	17,194
計	6,644,699	6,165,041	479,657

一般会計決算額の推移(歳出)



農協非常勤役員が参加して

合併の懇談会開く

十二月五日午前十時から中央公民館で町主催の「農協合併に関する懇談会」が開かれ、町内六農協から九十人余りの非常勤役員が出席しました。

はじめに出川町長は「合併は目的ではなく、農協をよくするため、自主的に行うものである。組合は農協経営基盤の確立と、商業資本に対抗しうる力を求めている。近隣市町の農協も行政の援助で合併しているので、この会も農協合併

のたくましい一歩であるよう」と述べました。

続いて、加藤・北秋田農林事務所長から「県内の農協はほとんど一市町村一農協になっている。水田再編対策として、稲作基幹の復合経営による足腰の強い農家育成のため営農指導体制の強化、農産物の集出荷体制の強化、資金、設備が充実されるなど利点が多い」と、また、山崎・中央会北秋田支所長は「地域農業を発展させるため営農・生活指導員を増やし近代化、多様化により産地間競争が激しい農業に対応して行かなければならない。これまでの合併の例をみると、金融貸付けの利息、賦課金などは低い方に一元化されている。また、組合員の結びつきが薄れるという意見があるが、広報活動を充実させ効果をあげている」と、それぞれ情勢を分析したあいさつがありました。



このあと、町長を座長にして懇談会がもたれましたが、出席者から「合併で貸付け、賦課金、施設面で条件がよくなるが、農協は赤字になるのではないかと質問がありました。山崎支所長から「たしかに五年くらいは苦しいだろうが農家は有利になる。事業拡大も慎重に行われるので不利にな

ることはない。また、中央会では合併による助成、営農指導員設置補助、欠損金に対する利子の一部補てんなど優遇措置がある。…と答弁されました。

町では、農協合併助成法が五十七年三月で期限切れとなることから、県、国に同法の継続について要望しており、今後この種の会議を開いて、農協合併にともなう話し合いを深めることにしました。

就学援助制度について

冷害農家の児童 生徒の保護者に

冷害農家の児童生徒の保護者に対する就学援助制度とは、義務教育の円滑な実施に資するため、冷害により経済的に就学困難と認められる児童、生徒の保護者に対して、町が必要な援助を与えなければならぬ制度です。

支給用品は、学用品及び学校給食費等です。ただし、認定要件がありますので、地区民生委員が学校に相談のうえ、手続きされるようお知らせします。

くわしくは、町教育委員会学校教育係（電話二一一一）



（河川災害復旧工事）
▼工事場所 田の沢川左岸（綴子字田の沢二号） ▼請負額 五十

万円 ▼請負者 宮野建設・宮野岩男 ▼工事期限 一月八日

▼工事場所 田沢川左岸（栄字南山根二号） ▼請負額 七十二万円 ▼請負者 三正建設・三沢正蔵

▼工事場所 小摩当川右岸（栄字下の沢一号） ▼請負額 六十三万円 ▼請負者 畠山組・畠山堅逸

▼工事場所 小摩当川左岸（栄字下の沢二号） ▼請負額 七十九万円 ▼請負者 宮野建設・宮野岩男

▼工事場所 小摩当川右岸（栄字彦十郎谷地二号） ▼請負額 七十九万五千円 ▼請負者 淡路重機・淡路寿治

▼工事場所 黒沢川右岸（黒沢字村下） ▼請負額 八十六万円 ▼請負者 東園土木・村上裕治

※いずれも工事期限は、一月二十三日まで。

▼工事場所 田沢川右岸（栄字岩堰根三号） ▼請負額 九十五万円 ▼請負者 米代川商事・九島武松 ▼工事期限 二月二日

（道路災害復旧工事）

▼工事場所 摩当 李岱線（栄字孫六岱二号） ▼請負額 七十一万円 ▼請負者 松橋建設・松橋政男 ▼工事期限 一月十三日

▼工事場所 坊沢 前山線（坊沢字芋白沢） ▼請負額 八十一万円 ▼請負者 米代川商事・九島武松 ▼工事期限 一月十八日

▼工事場所 綴子 小田線（綴子字山神堂下） ▼請負額 百六十九万五千円 ▼請負者 村昭組・村上昭二 ▼工事期限 二月七日

農家のみなさんへ

経費費控除の申告

▽共同施行（個人を含む）による水利費及び転作奨励互助方式による処出金の申告について
町では、税の申告を二月上旬から行う予定で準備にとりかかっていますが、農家のみなさんが五十六年中に支払った農業所得関係の経費を調査しております。

これまで、経費控除の申告されている方には通知しましたが、五十六年度から実施された団体（個人）については確認できませんので、一月十日まで役場税務課町民係へ申告してください。

期日まで申告されない場合は、経費として控除されません。

駐在所の仮移転

綴子と七日市の駐在所は、新築工事のため、事務所を次の場所へ仮移転しました。

○綴子警察官駐在所
（電話 二一〇八一）
綴子字大堤道下四一（綴子下町の中ほど） 藤島テツエ

○七日市警察官駐在所
（電話 六一二〇五九）
七日市字根木屋敷岱一〇七（南中学校入口） 町管住宅

59インターハイにむけて

準備委員会発足

昭和五十九年全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の女子バレーボール競技が、同年八月一日から四日間、当町での開催が決定していましたが、このほど、受け入れ体制に万全を期すため、準備委員会(会長・出川禮一町長)を発足させました。

同委員会は、行政や体育協会、教育関係者ら二十人が出席して、十二月八日午後二時から中央公民館で行われました。

今回は、委員に委嘱状を交付したあと、これまでの経過を説明、会則、役員を決めて、今後の準備の手順を確認しました。

同大会には、全国から予選を勝ちぬいた五十四チームと、県内外役員、補助役員など千人余りが参加する予定です。

競技会場は、鷹巣体育館を主会場に、鷹巣高校、鷹巣農林高校、鷹巣中学校の各体育館が予定されているほか、練習会場は、町内各小学校体育館と七座健康増進センター、建設予定の小体育館などが充てられることになっています。

町では、大会にむけてこれらの施設(高校体育館は県)を改善することに努めています。

また、大会を成功に導くため、ライズマン、記録員、判定員など

の補助員は、五十七年度から講習会を開いて養成することになりました。

鷹巣高校に野球場完成

鷹巣高校(平野清太郎校長)では、このほど待望の野球場が完成し、十二月十七日喜びの竣工式が行われました。

昭和四十二年に創立した同校では、これまで野球場がなかったため、体育の授業やクラブ活動に不便をきたしていました。

同窓会の働きかけで野球場の建設が実現したものです。

球場は、校舎の南側で、小猿部川堤防沿いにある畑を堂ヶ岱地区から買収。今春から、二千七十万円余りをかけて、野球場増成工事が行い、このほど完成したものです。

規模は、両翼が九十メートル、中堅百二十メートル、外周にフェンスを張りめぐらし、バックネット裏は盛土の観覧席となっています。



した。

一方、九百人ちかい選手、役員の宿泊は、旅館や民泊、公共施設でまかなうことになり、輸送や栄養指導などの歓迎準備は、五十八年より常任委員会に切りかえて、万全な体制で準備を進めることになりました。

同校野球部関係者は大喜びで、「野球場さがしに大変だったが、これで安心して練習に励むことができます。みなさんの期待にこたえられるよう戦力アップしたい」と語っていました。

冬の暖房

火の用心と換気の用心

酸欠事故をなくそう



燃えているロウソクにコップをかぶせると……。小学生の時に習った理科の実験を思い出し、てみましょう。

ロウソクの火が消えてしまうことは、もうお分かりですね。物が燃えるためには、空気の中に含まれる酸素が必要なのは、言うまでもありません。

それは、物が燃えるにはどのくらいの空気が必要なのでしょう。例えば、都市ガスを燃やすには、千キロカロリーの空気が約〇・九立方メートルの空気が必要とされています。つまり、家庭で使われているガスコンロを一時間続けて使用する場合は、ドラム缶十二本分、小型ガス瞬間湯沸器だとドラム缶三十六本分の空気が必要ということになります。

閉めきった部屋で、寒いからと、ストーブやコンロをつけっぱなしにしていると、燃焼に必要な空気の量が不足して不完全燃焼を起こします。頭痛やめまいを感じたら、酸素欠乏症か一酸化炭素中毒。場合によっては、命をも失いかねません。火を使うときは、「火の用心」はもちろんのこと、「換気の用心」もお忘れなく。

また、物が燃えるときと同じように、わたしたち自身も空気中の酸素を吸収し、二酸化炭素とともに、わずかの一酸化炭素を出しながら生きています。火を使わない部屋でも、換気には十分気を配ることが大切です。

なお、建築基準法では、建築物の換気設備について規定と技術基準を設けています。家を新築・増改築するときは、建築基準法を確認し、安全で快適な住まいづくりを心掛けましょう。

公民館のつぎ

公民館運営審議会が、十二月十四日鷹巣中央公民館で行われました。

今年から独立した各地区公民館



町連青が企画した宿泊研修

長も出席し、時代の要請に応じた公民館活動の方向をさぐって、活発な意見がかわされました。

◆五十七年度の活動方針

各公民館とも、五十六年度の活動方針(重点事項 ①青少年の健全育成 ②生活の合理化 ③自治公民館活動)を継続しながらも、各地域の表情に即した運営方法でその成果を期す。

◆婦人・青年団体について

○今の婦人会に、若い人が夢をもてるような組織機構が欲しい。
○自分が必要と思ったら、一つの団体に固執せず、多くの団体で活動した方がよい。
○公民館は、それぞれの団体の役

学級紹介

堂ヶ岱若妻学級

四十八年、県の指定を受けて、部落PTAを対象にしながら、沢口家庭教育学級として誕生したのが、今の若妻学級の前身です。

当時は、会館が出来て間もなく集まる楽しさも手伝って、老若男女を問わず「地域ぐるみの子さだて」を合いことばに、よく集まりました。内容も「子どもの成長と遊び」、「子どもの純潔教育」、

「子どもの言い分、親の願い」など、「子ども」一辺倒の学習会でした。

五十年、子どもを抱えて、現実にも多くの問題に直面する若いお母さん達のグループが結成され、現在に至っています。

一時期、人集めのための学習計画に終わった事もありましたが、最近また、原点に返り「お母さんの勉強室」の録画を見ての学習会などもやっています。七年間の月日は会員の様相を変えましたが、「私の背中を見て、わが子が育つ」の責任感だけは、今も変わって

割を大事にししながら、婦人層が協力し合うムードづくりをすべきである。

○青年は、酒を飲んだり、踊ったりだけしているように見えるがそこに青年の活動があるのではないか。

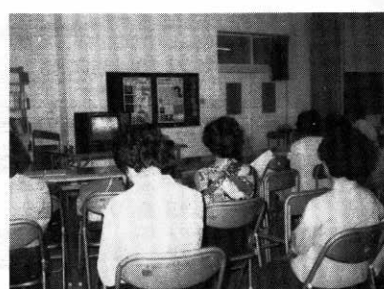
◆コミュニケーション

○スポーツを通じた地域づくりは、欠かせない。公民館とスポーツの関係性を明確にすべきでないか。
○体育館(スポーツ指導員)と公民館(体育主事)の連絡を密にすべきである。

◆各種行事について

書きぞめ大会、読書感想文、学習者発表交流会等は、それなりに意義があり、継続すべきだ。但し内容の改善や、いつまでも公民館主導型から脱皮すべき時期にきているのではないか。
※ほかにも、貴重なご意見がたくさんありました。

せん。会長(前期)小塚トモ子(後期)小塚 裕子



中央小学校PTAのテレビ学習

郷土史年表

西暦	年号	事項
一九二二	大正一一	○四月 私立鷹巣病院開設 ○六月九日 沢口小学校に高等科併置 ○七月九日 森嶋外(六十三歳)死去 ○八月二十六日 上大野村上杉字金沢一番御料地を坊沢村へ払い下げ許可になる ○九月九日 鷹巣小学校で体操の時間に女兒はパンツ着用することをきめる。「郡内未だ見ること」と記されている。
一九二三	大正一二	○住吉町の街路を開く ○綴子郵便局創設 局長に佐藤左司馬任命 ○綴子神社、本殿幣殿新築、拜殿改築 ○腸チフス流行す ○二月 坊沢信用組合を購買、販売組合に変更増資す ○四月一日 郡制廃止 ○五月九日 坊沢小学校では深閣下岱で運動会を開催す ○六月一日 関東大震災 ○九月二十日 秋田四十八銀行鷹巣支店開業、安田銀行鷹巣出張所は廃止となる ○十一月十日 国民精神作興に関する詔書かん発 ○鷹巣より大野台を経て上小阿仁に至る道路を県道とす ○阿仁鉄道が八年計画で着工が決まっていたが、関東大震災のため中止となる ○坊沢が県より農事指導団地に指定される (次号に続く)



児童「歳末助け合い」に寄付

町内の小学校では、1年間こつこつと貯めたお金を「恵まれない人達に役立ててください」という願いをこめて、児童の代表が社会福祉協議会を訪ずれ126,315円を歳末助けあいに寄付していました。

お金は、子供たちが、お小遣いを節約したり、家の中で眠っている1円玉を集めたもので、ビニール袋にびっしりつまった小銭を職員に手わたしていました。

5回目をむかえた「町民クリスマスコンサート」が雪化粧のこい12月19日夜、中央公民館で開かれました。

会場には、400人近い聴衆が詰めかけ、混声合唱団の透きとおるようなハーモニー、室内合奏団や鷹巣高校吹奏楽部の奏でるメロディーに耳を傾むけ陶醉していました。最後には、ハレルヤコーラスの大合唱が高らかに響きわたっていました。

ハレルヤコーラスの大合唱



中央公園にヘラブナ放流

ヘラブナの釣り場として、県内のマニアから好評を得ている中央公園で、12月20日午前10時から体長17cm前後のヘラブナ7,200尾、500キロを放流しました。

町ヘラブナ研究会（岩川辰夫会長）では、48年から毎年町の助成を得て計画的に放流。今回は、大阪から運ばれたもので、輸送費は会員が負担し訪ずれる春を待ちながら放流していました。



町営薬師山スキー場では12月19日午後、町、スキークラブ、今泉部落から50人が出席して、スキーヤーの

安全と二基あるロープ塔の無事故を祈念してスキー場開きが行われました。

今シーズンは、例年になく冬が早く訪ずれ、すでに積雪が30cmで、熱心なスキーヤーは、丹念に雪を踏みかため初滑りを楽しんでいました。

スキーヤーの安全を祈願



家族そろって

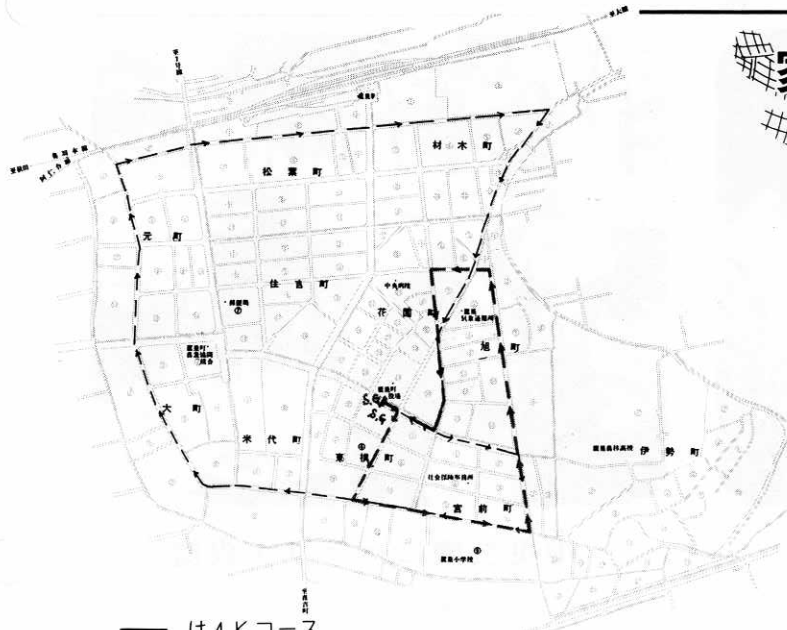
元旦マラソンに

参加しよう

町民元旦マラソンは、教育委員会主催、鷹巣陸協主管で行われるまったく新しい行事です。マラソンというと、選手権大会であったり、記録に挑戦したり、スピードを競うイメージが強いけれども、この元旦マラソンは、勝敗や記録は二の次にしています。誰でも気軽にジョギングして、さわやかな汗を流そうというのがねらいです。

あなたも、年の初めに、健康づくりのため、マイペースで町内を一周してみませんか。

日時 一月一日
受付 午前九時三十分



—— は4Kコース
- - - は2Kコース

開会式 十時 競技開始 十時三十分
集合場所 鷹巣中央公民館
参加資格 子どもから老人までどなたでも参加できます。
種目 チャレンジコース(四K) フアミリーコース(二K)
受付 出発直前まで受け付けします。

大館少年自然の家で スキーのつどい

自然に親しみながら、冬を楽しむ過ごすため、県立大館少年自然の家で、一月十二日から十四日まで二泊三日の日程で「スキーのつどい」が開かれます。

内容は、スキーの基礎、スキーツアー、カンジキでウィンターハイクなど。小学校五年から中学生と親または引率者が参加できます。参加費は二千七百円で、定員百二十人になり次第打ち切りますので、一月七日まで県立大館少年自然の家(電話：大館局四三二一三七四)あて申し込んでください。

実業団バレーボール リーグ鷹巣大会

一月十七日(日)鷹巣体育館で
男子 日本電気 対 神戸製鋼
女子 日立茂原 対 三洋電機
前売券 指定席：千三百円
立見席：八百円

ふるさと人物伝 17

かわたよそうぞ えもん
河田与惣左衛門
(一八七五—一九四五)



鷹巣小学校在学当時の思い出の中に「河与のダンナ」のことが印象にある。四大節の拝賀式に人力車でこられ、ピンとひげを生やした恰幅のよい姿を式場にあらわした来賓席に立つておられた。貴族院議員、河田与惣左衛門氏である。

彼は明治八年、鷹巣町元町(旧三吉町)の豪農、河田与惣左衛門の二男として生まれ、家を継ぎ明治四十二年、三十四歳で多額納税者として貴族院議員に当選、皇族、華族たちと議席を同じくして国政に参与する。

また大正八年十月郡会議員に当選同年八月から四年間町長に就任、町政、郡政につとめる。当時鷹巣周辺の水田地帯には諸々にアシヤ、ガジギが密生し

排水が悪く、田下駄(板)をはかないと作業ができない所が多く、米の収量も少なかった。彼は耕地整理組合の委員となり会計を担当百六十餘に及び乾田化工事を成功させた。また、二宮尊徳を学ぶ「報徳社」を創立、勤労を重んじ隣保互助の精神を普及するなど社会教育活動につとめた。

河田家には多くの小作人がいたが、地主と小作人の「和」をはかるため信用購買組合を結成日用品を市価より安く入手させるなどの便誼をはかり、対話もよくした。

大正初期は凶作と不況が続き学校に弁当を持ってこれない児童がかなりいた。彼は欠食児三十三名(通算)に数年間にわたる米飯と副食の給食を施し、当時の資産家には類例のない徳行であった。

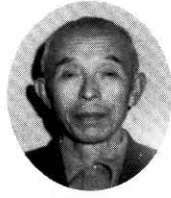
美男子でひげがあり貴公子の風格が公家官職の正三位大納言によく似ているというので「大納言さん」のニックネームをつけられ、号を丹楓と称し和歌や俳句をよくし、興わけは直ち筆をとるという文化人でもあった。

○山寺やなき親思うくれの鐘
○落る花眠る親子の乞食かな
○先きになり後にもなるや帰る雁 昭和二十年没
現在の当主は孫の誠三氏である。
(資・村上薫氏調査原稿「鷹巣郷土誌」)
(中央公民館長 長崎 久)



大晦日は、早朝から餅搗きやお

である。生まれて間もない時母が死亡し、すぐ里子に出されて育ったこともあって、口では表現できない少年時代だった。が正月だけは義兄弟と分け隔てのない待遇に「早く来い来いお正月」そのものだった。



今泉丹 信之助(73)

私の生
まれは、
横手盆地
の一隅、
今の大雄
村田根森

節料理作りに精を出し、夕方には玄関やかまどを清め、床の間には家中の宝物を飾り、ありつけたの掛軸を吊し、一家多忙を極める。だが夕食時には全員晴着になり、養父と義兄のご燈明のともった床の間を背に、家族全員コの字形に一人一人ご馳走のお膳の前に座るのである。おもむろに養父より一年間の反省と新年の心構えの垂訓があつて、やっと「いただきます」となる。今からみれば質素なご馳走に胸を高鳴らせたことなど、懐かしく思い出される。

正月も七草粥を食べる頃になると、盆地は六尺以上の雪が積もる。一月十四日、向こう三軒両隣大人から子どもまで総出で、一日かかってかまくらを作り、室の正面に

みんなの広場



こぶなぐさ

原野に普通な1年草。
長さ20cm~50cm。
あまり目だたない植物。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

ぼくのおとうさん

ぼくのおとうさんのとくいなのは、やきゆうです。朝はやくおきると、やきゆうをおしえてくれます。

ときどき本や、おかしや、いろいろなものを買ってきてくれるおとうさんが大すきです。

法報のしおり

家紋

お正月は、紋付きに見かけます。また最近、デパートなどの礼装用品売場で各種の家紋を売っております。

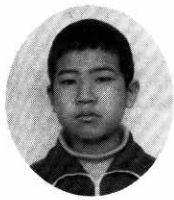
その発生は、平安時代の公家が

水神様を祭り十五日を待つ。

翌朝部落中の子ども達が広場に集まり、田園の鳥追いに出かける。柏子木を打ち鳴らす上級生四、五人を先頭に、声高らかに「根田谷地の悪童ども朝も早く起れねエで鳥こもばえねエ：オーイ、オーイ」と隣部落の悪口を囃しながら田圃を走りまわる。その後各々自分のかまくらに帰り、七輪に根っこ(泥炭の乾燥したもの)や木炭で火をおこし、餅を焼き、あま酒を飲み、童歌を歌い、夜が深まるまで精一杯遊びまわるのだった。

このかまくらも、今は横手市の観光名物になっているが、テレビのライトに照らされての味わいは今の子ども達の心にとののように投影されるのであろうか。

おこるときは、すぐこわいです。おじいちゃんのないときは、いつしよにねるときもあります。



鷹巣小学校 2年 成田 光明

好みの紋様を使っているうちに武家がまねを始め、敵味方の識別のための旗印に使われだし、だんだん一般化したということだ。

そもそもが目印なので、分家すれば本家の特徴を生かしながらちよつと違った「新紋」を自由に作れるのですから、今では数えようもなく種類がふえたのもむりは

ありません。

同じ一家にしても定紋はさておき、裏紋、替え紋、女紋といくつも作り分けて楽しむことができます。ここ数年世の中も落ち着いたためか、家紋への関心も高まってきました。先祖伝来の家紋を基礎に、全く新しい感覚で自分だけの紋を作るのも楽しみなものです。

たかのす文芸

先生からの返事

鷹巣小学校六年 桜田 美穂子

いつも私は日記を書きながら

今度は先生、どんな返事をくれるのかなあ

と思いつめぐらす

次の日は

先生が日記を見てみると、とても気になる

帰りに

自分の日記がわたつてくると、がまん出来なくなる

パツとひろげ、ノートに目を走らせる

と同時に

思わずわらいがこみあげてくる

返事が書いてない時があつても

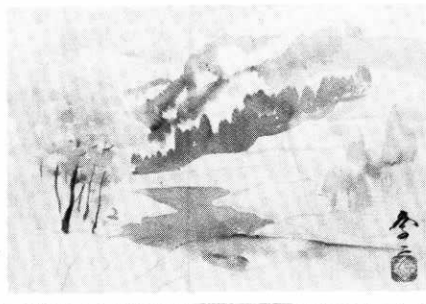
次に書く日記の事が

いろいろと楽しみになる

日記は

毎日わたす、手紙のようだ

おしらせ



一線美術会運営委員・九島紫二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。
 成人健康相談は、十三日と二十七日です。
 時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。
 ◆フッ素イオンむし歯予防は、六日です。
 時間は、午前十時から午後三時まで。対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの際は母子手帳を忘れないでお持ちください。
 ◆妊婦健康相談は、四日と十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで、おいでの際は母子手帳を忘れないでお持ちください。
 また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。
 時間は、午前十時から十一時まで。
 ※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

◆乳児健康相談は、二十一日、五十六年九月生まれとなっています。
 受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

◆離乳食実習指導は、二十一日、五十六年六月生まれとなっています。
 受付時間は、午前九時三十分から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

◆三歳児健康診査は、十四日、五十二年十一月、十二月生まれとなっています。
 受付時間は、午後零時三十分から一時まで。おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。
 ※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

予防接種

生後三ヵ月から十八ヵ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン(小児マヒ生ワクチン)の投与を行います。予備期間として四十八ヵ月まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は二十日、鷹巣地区の方は二十一日です。以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。
 受付時間は、午後一時から午後二時まで、中央公民館保健相談室です。

※禁忌と注意
 生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産生機能に異常ありと想定される場合は、投与を行いません。その他、下痢患者も治療してから投与します。生ワクチン投与当日の入浴はさしつかえありません。母子手帳は、必ず持参してください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。
 一月は、▽八日、▽沢口・七日市地区
 二月は、▽二十二日、▽栄・高野尻地区
 三月は、▽二十九日、▽綴子地区
 時間は、午前九時から午後四時までとなっています。

停電のおしらせ

一月の作業停電は、次の地区です。
 ▽11日、▽新田中・中学校付近
 ▽14日、▽綴子下町・綴子小学校・訓練校
 ▽19日、▽吉野地区
 ▽20日、▽中屋敷・根木屋敷・小森より湯

の貸全域 ▽25日、品類から下舟木間
 ※いずれも午前九時から午後一時まで。(19日は正午まで、20日は正午から四時まで)

香典返し

▽住吉町、五代儀正純さんから亡父甚一郎さんの香典返し
 一〇〇,〇〇〇円
 ▽伊勢町、中川幸雄さんから亡妻恵子さんの香典返し
 二〇,〇〇〇円

慶弔だより

12月1日~12月15日

誕生おめでとうございます

相馬 善行(文夫) 二男 元町
 三上ひとみ(博美) 長女 三ノ渡
 佐藤 正人(正市) 長男 大町
 小島 文子(博行) 長女 前野
 成田 裕美(吉廣) 長女 今泉
 福原 正道(正己) 二男 摩当
 野原丈太郎(多津也) 長男 花園町
 今川 朋子(信夫) 二女 糠沢
 畠山 和(俊悦) 長男 前野
 二人の前途を祝福いたします

田中正 廣 高野尻
 鈴木真知子 森吉町
 長崎一雄 あけぼの
 佐藤美保子 森吉町
 長崎弘己 七日市
 津谷ちえ子 坊沢大町

おくやみ申しあげます
 武藤サン(81歳) 松葉町
 津谷宇三郎(76歳) 坊沢大町
 五代儀甚一郎(80歳) 住吉町
 藤嶋ヒテ(79歳) 街道町
 高橋末吉(77歳) 伊勢町
 堀内セチ(81歳) 綴子下町
 松前キヨ(93歳) 七日市
 成田勇(69歳) 綴子下町
 村井五郎(60歳) 松葉町

工藤竹美 花園町
 和田真知子 二ツ井町
 千葉久雄 横瀨
 千葉浩子 横瀨
 高橋穂 上町
 吉田富士子 住吉町
 永井義信 相善町
 畠山むつ子 三ノ渡
 佐藤弘信 脇神
 中嶋祝生 小ヶ田
 久留島直広 岩脇
 石川あゆ子 前野
 藤谷徳春 舟場
 河田基久子 旭町
 新藤良透 合川町
 佐藤博子 小田
 三沢徹 大堤
 太田公己 葛川町
 佐藤美和子 合川町
 佐藤美和子 葛川町
 米倉一之 合川町
 根本順子 大堤
 根橋雅人 大館市
 高橋千尋 下町
 大川清昭 高森岱
 九島美智子 高森岱